

確定係数算定による令和4年度国保事業費納付金について

- ◇ 1月11日、令和4年度事業費納付金が確定したため、今年度も、確定値で当初予算算定を行う。
- ◇ 令和元年度には初年度の平成30年度と比較し増加であったが、令和2年、3年と減少傾向にあった。しかしながら、令和4年度の確定値においては、被保険者数は減少を見込むものの、一人当たりの診療費、給付費の増加が見込まれ、前年度比で約216,000千円の増加となった。

◇ 国保事業費納付金の推移 ◇

(単位：円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	確定値	確定値	確定値	確定値	確定値	
医療分	2,285,468,764	2,301,201,983	2,239,797,835	2,146,621,992	2,389,871,850	
前回との差額	—	15,733,219	▲ 61,404,148	▲ 93,175,843	243,249,858	
後期支援金分	726,895,835	728,615,789	755,620,388	751,344,324	728,369,470	
前回との差額	—	1,719,954	27,004,599	▲ 4,276,064	▲ 22,974,854	
介護納付金分	256,508,453	264,847,749	276,243,423	297,371,329	293,062,953	
前回との差額	—	8,339,296	11,395,674	21,127,906	▲ 4,308,376	
事業費納付金	3,268,873,052	3,294,665,521	3,271,661,646	3,195,337,645	3,411,304,273	
前回との差額	—	25,792,469	▲ 23,003,875	▲ 76,324,001	215,966,628	

